

平成17事業年度

決 算 報 告 書

【 第 2 期 】

自 平成17年 4月 1日
至 平成18年 3月31日

国立大学法人 京 都 大 学

平成 17 年度 決算報告書

国立大学法人 京 都 大 学

(単位:百万円)

区 分	予 算	決 算	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	62,583	62,583	－	
施設整備費補助金	2,621	2,336	△ 285	(注1)
施設整備資金貸付金償還時補助金	6,126	18,378	12,252	(注2)
補助金等収入	－	399	399	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	672	672	－	
自己収入	36,113	37,538	1,425	
授業料、入学金及び検定料収入	12,951	12,983	32	(注4)
附属病院収入	22,743	23,886	1,143	(注5)
雑収入	419	669	250	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	15,089	21,333	6,244	(注7)
長期借入金収入	369	362	△ 7	(注8)
承継剰余金	－	3	3	(注9)
計	123,573	143,604	20,031	
支出				
業務費	85,762	83,579	△ 2,183	(注10)
教育研究経費	64,396	61,164	△ 3,232	
診療経費	21,366	22,415	1,049	
一般管理費	7,919	7,422	△ 497	(注11)
施設整備費	3,662	3,370	△ 292	(注12)
補助金等	－	398	398	(注13)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	15,089	17,108	2,019	(注14)
長期借入金償還金	11,141	23,392	12,251	(注15)
計	123,573	135,269	11,696	
収入－支出	－	8,335	8,335	

○予算と決算の差異について

- (注1) 施設整備費補助金については、(犬山)リサーチ・リソース・ステーション事業が翌年度に繰越となったため、予算額に比して決算額が285百万円少額となっております。
- (注2) 施設整備資金貸付金償還時補助金については、平成17年度補正予算により繰上げ償還を行ったため、予算額に比して決算額が12,252百万円多額となっております。
- (注3) 予算段階では予定していなかった国からの補助金の獲得に努めたため、予算額に比して399百万円決算額が多額となっております。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、入学者の増により予算額に比して決算額が32百万円増収となっております。
- (注5) 附属病院収入については、外来患者数の増及び診療単価の増等により予算額に比して決算額が1,143百万円増収となっております。
- (注6) 雑収入については、主として施設利用料収入及び有価証券利息等により、予算額に比して決算額が250百万円増収となっております。
- (注7) 予算段階では予定していなかった国等からの受託研究や民間からの寄附の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が6,244百万円増収となっております。
- (注8) 長期借入金収入については、競争契約により契約金額が安価となったため、予算額に比して7百万円少額となっております。
- (注9) 承継剰余金については、承継した産学連携経費を執行したため、予算額に比して3百万円多額となっております。
- (注10) 業務費については、退職手当において、退職予定者が当初見込みを下回ったため、予算額に比して決算額が976百万円少額となっております。
また、経費の節減等により、予算額に比して決算額が1,207百万円少額となっております。
- (注11) 一般管理費においては、経費の節減等により、予算額に比して決算額が497百万円少額となっております。
- (注12) (注1)及び(注8)に示した理由により、予算額に比して決算額が292百万円少額となっております。
- (注13) (注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が398百万円多額となっております。
- (注14) (注7)に示した理由により、予算額に比して決算額が2,019百万円多額となっております。
- (注15) (注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が12,251百万円多額となっております。